



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 旭化成株式会社 上場取引所 東名札福  
 コード番号 3407 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 健嗣  
 問合せ先責任者(役職名) 広報室長 (氏名) 山崎 真人 (TEL) 03(3296)3008  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 :有  
 四半期決算説明会開催の有無 :有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	429,963	17.8	28,321	161.1	27,514	238.5	19,634	522.4
25年3月期第1四半期	365,001	△0.8	10,846	△64.1	8,129	△73.2	3,155	△83.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 39,130百万円(-%)  
 25年3月期第1四半期 △11,650百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.05	-
25年3月期第1四半期	2.26	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	1,841,946	853,585	45.7	601.83
25年3月期	1,800,170	824,451	45.1	581.05

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 841,089百万円 25年3月期 812,080百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	7.00	-	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	920,000	16.8	65,000	69.7	61,000	70.1	38,000	84.3	27.19
通 期	1,891,000	13.5	130,000	41.4	130,000	36.7	77,000	43.4	55.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日公表の業績予想を表示しており、今回見直しは行っていません。第2四半期連結決算発表時に見直しを行う予定です。

※ 注記事項（詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	1,402,616,332株	25年3月期	1,402,616,332株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	5,055,273株	25年3月期	5,016,645株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,397,579,922株	25年3月期1Q	1,397,683,505株
----------	----------------	----------	----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) セグメント別売上高及び営業利益 .....	12
(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間) .....	13
(3) 主要項目の状況(連結) .....	13
(4) 住宅 請負事業の状況 .....	13
(5) その他の項目 .....	14
(6) 有利子負債残高(連結) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 業績全般

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月～6月、以下「当第1四半期」)における世界経済は、米国では雇用環境が改善するなど回復傾向が見られましたが、中国を中心とした新興国の成長鈍化や欧州経済の停滞が続くなど、先行き不透明な状況で推移しました。一方、日本経済については、政府の経済政策の下、円安により輸出環境が改善し、個人消費も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかながら回復基調にありました。

このような状況の中で、当社、連結子会社及び持分法適用会社(以下「当社グループ」)の当第1四半期における連結業績は、住宅事業において引渡戸数が増加したことや、ケミカル事業及び医薬事業において販売量が増加したこと及び円安の効果などから、売上高は4,300億円で前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)650億円(17.8%)の増収となり、営業利益は283億円で前年同期比175億円(161.1%)の増益、経常利益は275億円で前年同期比194億円(238.5%)の増益、四半期純利益は196億円で前年同期比165億円(522.4%)の増益となりました。

## ② セグメント別概況

当社グループの7つの報告セグメント「ケミカル」「繊維」「住宅」「建材」「エレクトロニクス」「医薬・医療」「クリティカルケア」及び「その他」に区分してご説明します。なお、当第1四半期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

また、「クリティカルケア」セグメントは、前第1四半期では平成24年4月27日以降の業績を開示していましたが、当第1四半期より全期間の業績を連結対象としています。

## 「ケミカル」セグメント

売上高は1,931億円で前年同期比321億円(19.9%)の増収となり、営業利益は102億円で前年同期比59億円(135.8%)の増益となりました。

石化・モノマー系事業は、アクリロニトリルの市況が低水準で推移したことや、原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、スチレンモノマーの市況が改善しました。ポリマー系事業は、円安の効果に加え、省燃費タイヤ向け合成ゴムや自動車向けエンジニアリング樹脂の販売が堅調に推移しました。高付加価値系事業は、イオン交換膜を中心とした円安の効果に加え、コーティング事業などの販売が堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「繊維」セグメント

売上高は288億円で前年同期比26億円(9.8%)の増収となり、営業利益は22億円で前年同期比16億円(265.3%)の増益となりました。

ナフサなど原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、人工皮革「ラムース<sup>TM</sup>」のカーインテリア向けなどの不織布やポリウレタン弾性繊維「ロイカ<sup>TM</sup>」の販売量が増加し、再生セルロース繊維「ベンベルグ<sup>TM</sup>」の販売も堅調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「住宅」セグメント

売上高は984億円で前年同期比121億円(14.0%)の増収となり、営業利益は66億円で前年同期比30億円(81.9%)の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は1,118億円で、前年同期比109億円(10.8%)の増加となりました。

建築請負事業は、好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウス<sup>TM</sup>」や集合住宅「ヘーベルメゾン<sup>TM</sup>」の引渡戸数が増加しました。また、不動産事業は賃貸管理事業を中心に順調に推移し、リフォーム事業でも大型改築・改装工事などの受注が好調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「建材」セグメント

売上高は131億円で前年同期比15億円(13.2%)の増収となり、営業利益は13億円で前年同期比8億円(156.9%)の増益となりました。

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル<sup>TM</sup>」や、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ<sup>TM</sup>フォーム」の販売が好調に推移しました。また、中小型パイル工法「イーゼット<sup>TM</sup>」ではメガソーラー向けなど新規用途の受注が拡大し、構造資材事業も堅調であったことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

## 「エレクトロニクス」セグメント

売上高は365億円で前年同期比25億円(7.4%)の増収となり、営業利益は38億円で前年同期比42億円の増益となりました。

電子部品系事業では、各製品において販売価格の下落の影響を受けましたが、円安の効果に加え、スマートフォンなど携帯端末向けミクスドシグナルLSIの販売が堅調に推移しました。電子材料系事業では、円安の効果に加え、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア<sup>TM</sup>」を中心に、各製品における高機能領域の販売が順調に推移しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

## 「医薬・医療」セグメント

売上高は383億円で前年同期比60億円(18.4%)の増収となり、営業利益は90億円で前年同期比42億円(89.6%)の増益となりました。

医薬事業では、販管費が増加したものの、骨粗鬆症治療剤「テリボン<sup>TM</sup>」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン<sup>TM</sup>」を中心に販売量が増加しました。医療事業では、円安の効果に加え、ウイルス除去フィルター「プラノバ<sup>TM</sup>」の販売量が増加しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

## 「クリティカルケア」セグメント

売上高は178億円で前年同期比87億円(95.3%)の増収となり、事業利益(\*)は18億円で前年同期比1億円(4.4%)の減益、営業損失は15億円で前年同期比10億円の減益となりました。なお、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響は、前年同期比9億円増加し33億円でした。

着用型自動除細動器「LifeVest<sup>TM</sup>」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器なども堅調でしたが、営業活動強化のため販管費が増加しました。また、連結対象期間の差異による影響などから、セグメント全体では増収・減益となりました。

(\*)事業利益：ZOLL Medical Corporationを買収したことに伴い計上したのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響を除いた営業利益。

## 「その他」

売上高は40億円で前年同期比4億円(9.4%)の減収となり、営業利益は4億円で前年同期比4億円(49.0%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、「住宅」セグメントを中心としてたな卸資産が337億円、保有株式の時価が上昇したことなどにより投資有価証券が90億円増加したことなどから、前連結会計年度末(以下「前年度末」)に比べて418億円増加し、1兆8,419億円となりました。

有利子負債は、コマーシャル・ペーパーが110億円増加したことなどから、前年度末に比べて166億円増加し、3,981億円となりました。

純資産は、配当金の支払98億円があったものの、四半期純利益を196億円計上したことや、為替換算調整勘定が121億円増加したことなどから、前年度末に比べて291億円増加し、8,536億円となりました。

この結果、自己資本比率は45.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加309億円、未払費用の減少153億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益282億円、減価償却費200億円、前受金の増加165億円などの収入があったことから、187億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出215億円、無形固定資産の取得による支出90億円などがあったことから、309億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額98億円などがあったものの、コマーシャル・ペーパーの増加110億円や短期借入金の増加21億円などがあったことから、38億円の収入となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物の為替換算による増加額12億円などがあったことから、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より73億円減少し、967億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表した当第2四半期累計期間の連結業績予想に対し、医薬品の販売が好調な「医薬・医療」セグメントや円安の効果を受ける「エレクトロニクス」セグメントにおいて増収・増益となることなどから、グループ全体としては、売上高については増収、営業利益、経常利益及び四半期純利益についてもそれぞれ増益となる見込みです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今回見直しは行っていません。第2四半期連結決算発表時に見直しを行う予定です。

(第2四半期連結累計期間)

(単位：億円)

	前回公表(A) 平成25年5月9日公表	今回公表(B)	増減額 (B-A)	前年第2四半期 連結累計期間
売上高	9,120	9,200	80	7,875
営業利益	590	650	60	383
経常利益	575	610	35	359
四半期純利益	325	380	55	206

(注) 今回公表した業績予想は、以下を前提条件としています。

ナフサ価格¥65,250/k1、為替レート¥99/\$・¥129/€(第2四半期連結累計期間平均)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	109,513	102,034
受取手形及び売掛金	306,222	305,242
有価証券	124	364
商品及び製品	145,470	148,471
仕掛品	100,513	123,370
原材料及び貯蔵品	63,695	71,537
繰延税金資産	21,945	22,076
その他	73,619	70,060
貸倒引当金	△1,631	△1,681
流動資産合計	819,469	841,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	428,616	441,301
減価償却累計額	△241,191	△244,748
建物及び構築物(純額)	187,425	196,553
機械装置及び運搬具	1,236,111	1,258,789
減価償却累計額	△1,082,480	△1,099,141
機械装置及び運搬具(純額)	153,631	159,648
土地	58,176	58,096
リース資産	13,980	14,069
減価償却累計額	△7,173	△7,848
リース資産(純額)	6,806	6,221
建設仮勘定	41,482	32,739
その他	129,716	132,377
減価償却累計額	△115,656	△116,582
その他(純額)	14,060	15,795
有形固定資産合計	461,581	469,052
無形固定資産		
のれん	134,303	138,555
その他	121,114	122,448
無形固定資産合計	255,417	261,003
投資その他の資産		
投資有価証券	224,903	233,906
長期貸付金	5,248	5,083
繰延税金資産	8,487	5,980
その他	25,311	25,715
貸倒引当金	△245	△266
投資その他の資産合計	263,704	270,417
固定資産合計	980,702	1,000,472
資産合計	1,800,170	1,841,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,630	177,224
短期借入金	113,043	115,620
コマーシャル・ペーパー	70,000	81,000
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
リース債務	2,415	2,298
未払費用	91,646	77,197
未払法人税等	13,978	8,651
前受金	61,953	78,610
修繕引当金	2,359	5,432
製品保証引当金	2,143	2,037
固定資産撤去費用引当金	1,910	2,402
資産除去債務	722	715
その他	65,064	58,052
流動負債合計	602,864	614,237
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	146,929	150,565
リース債務	4,051	3,572
繰延税金負債	39,985	41,801
退職給付引当金	107,776	109,099
役員退職慰労引当金	767	663
修繕引当金	4,255	598
固定資産撤去費用引当金	2,960	1,751
資産除去債務	2,834	3,423
長期預り保証金	18,396	18,291
その他	4,902	4,359
固定負債合計	372,855	374,123
負債合計	975,719	988,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,389	103,389
資本剰余金	79,403	79,403
利益剰余金	553,557	563,439
自己株式	△2,431	△2,457
株主資本合計	733,918	743,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,622	69,474
繰延ヘッジ損益	△900	△688
為替換算調整勘定	16,440	28,530
その他の包括利益累計額合計	78,162	97,315
少数株主持分	12,371	12,496
純資産合計	824,451	853,585
負債純資産合計	1,800,170	1,841,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	365,001	429,963
売上原価	274,374	313,327
売上総利益	90,627	116,636
販売費及び一般管理費	79,781	88,314
営業利益	10,846	28,321
営業外収益		
受取利息	373	280
受取配当金	1,007	1,088
為替差益	—	727
その他	814	787
営業外収益合計	2,193	2,882
営業外費用		
支払利息	792	852
持分法による投資損失	524	1,872
為替差損	1,500	—
その他	2,095	966
営業外費用合計	4,911	3,690
経常利益	8,129	27,514
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35
固定資産売却益	33	1,467
特別利益合計	33	1,502
特別損失		
投資有価証券評価損	22	—
固定資産処分損	1,128	461
減損損失	27	—
事業構造改善費用	18	357
特別損失合計	1,194	818
税金等調整前四半期純利益	6,967	28,197
法人税等	3,750	8,376
少数株主損益調整前四半期純利益	3,217	19,821
少数株主利益	62	187
四半期純利益	3,155	19,634

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,217	19,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,086	6,837
繰延ヘッジ損益	1,428	211
為替換算調整勘定	△11,684	11,885
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,526	376
その他の包括利益合計	△14,867	19,309
四半期包括利益	△11,650	39,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,447	38,787
少数株主に係る四半期包括利益	△203	343

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,967	28,197
減価償却費	17,895	19,951
減損損失	27	—
のれん償却額	1,397	2,190
負ののれん償却額	△58	△58
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△3,497	△584
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△230	△114
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	△649	△717
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	538	1,291
受取利息及び受取配当金	△1,379	△1,368
支払利息	792	852
持分法による投資損益 (△は益)	524	1,872
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△35
投資有価証券評価損益 (△は益)	22	—
固定資産売却損益 (△は益)	△33	△1,467
固定資産処分損益 (△は益)	1,128	461
売上債権の増減額 (△は増加)	6,573	3,077
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,685	△30,906
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,965	3,023
未払費用の増減額 (△は減少)	△15,054	△15,330
前受金の増減額 (△は減少)	13,660	16,494
その他	△10,511	1,896
小計	8,391	28,725
利息及び配当金の受取額	2,112	1,927
利息の支払額	△983	△627
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,827	△11,353
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,692	18,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,828	△2,640
定期預金の払戻による収入	2,784	2,640
有形固定資産の取得による支出	△16,652	△21,518
有形固定資産の売却による収入	99	2,030
無形固定資産の取得による支出	△2,732	△8,955
投資有価証券の取得による支出	△1,128	△2,507
投資有価証券の売却による収入	500	87
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△174,308	—
連結子会社株式の追加取得による支出	△1,310	—
貸付けによる支出	△3,123	△2,453
貸付金の回収による収入	2,018	2,565
その他	706	△192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,973	△30,943

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	185,425	2,071
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	36,000	11,000
長期借入れによる収入	812	1,862
長期借入金の返済による支出	△5,243	△651
リース債務の返済による支出	△625	△672
自己株式の取得による支出	△8	△26
自己株式の処分による収入	2	0
配当金の支払額	△9,784	△9,783
少数株主への配当金の支払額	△403	△20
その他	△60	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	206,117	3,763
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,329	1,175
現金及び現金同等物の期首残高	96,351	104,008
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	102	1
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,327	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,634	96,678

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

当第1四半期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

## (1) セグメント別売上高及び営業利益

## (a) 連結売上高

(億円)

	H25/3期	H26/3期	増減額		増減率 %	H26/3期
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績				第2四半期 累計見通し
ケミカル	1,611	1,931	321	19.9	3,980	
繊維	263	288	26	9.8	590	
住宅	863	984	121	14.0	2,390	
建材	115	131	15	13.2	280	
エレクトロニクス	340	365	25	7.4	740	
医薬・医療	324	383	60	18.4	760	
クリティカルケア	91	178	87	95.3	380	
その他	44	40	△4	△9.4	80	
合計	3,650	4,300	650	17.8	9,200	

## (b) 連結営業利益

(億円)

	H25/3期	H26/3期	増減額		増減率 %	H26/3期
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績				第2四半期 累計見通し
ケミカル	43	102	59	135.8	210	
繊維	6	22	16	265.3	35	
住宅	36	66	30	81.9	265	
建材	5	13	8	156.9	25	
エレクトロニクス	△4	38	42	—	70	
医薬・医療	47	90	42	89.6	140	
クリティカルケア	△5	△15	△10	—	△20	
その他	8	4	△4	△49.0	5	
小計	138	321	183	132.8	730	
消去又は全社	△29	△37	△8	—	△80	
合計	108	283	175	161.1	650	

(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)

(億円)

	数量差	売値差		コスト差等	計
			内 為替因		
ケミカル	△1	67	65	△7	59
繊維	2	18	16	△4	16
住宅	39	4	—	△13	30
建材	2	1	—	5	8
エレクトロニクス	6	24	47	11	42
医薬・医療	42	15	15	△14	42
クリティカルケア (注)	9	2	0	△21	△10
その他	△2	—	—	△2	△4
消去又は全社	—	—	—	△8	△8
合計	97	130	143	△52	175

(注) 連結対象期間の差異による影響は「コスト差等」に含めています。

(3) 主要項目の状況(連結)

		H25/3期	H26/3期
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績
設備投資額(有形)	億円	220	176
設備投資額(無形)	億円	36	27
減価償却費	億円	179	200
金融収支 (内 受取配当金)	億円	6 (10)	5 (11)
四半期末人員	人	28,401	28,987
D/Eレシオ		0.57	0.47

(注) 減価償却費は有形と無形の合計額

(4) 住宅 請負事業の状況

		H25/3期	H26/3期	増減	増減率 %	H26/3期
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績			第2四半期 累計見通し
受注戸数	戸	4,553	4,794	241	5.3	10,560
受注高	億円	1,009	1,118	109	10.8	2,340
受注残高	億円	4,331	4,864	534	12.3	5,016
売上戸数	戸	2,379	2,791	412	17.3	7,300
売上高	億円	597	700	103	17.2	1,770

(5) その他の項目

		H25/3期	H26/3期	増減	H26/3期	
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		第2四半期 累計見通し	
ナフサ価格(国産ナフサ)	¥/kl	60,600	65,500	4,900	65,250	
為替レート(相場平均)	¥/\$	80	99	19	99	
	¥/€	103	129	26	129	

(6) 有利子負債残高(連結)

(億円)

	前年度末 実績	当第1四半期末 実績	増減額
短期借入金	1,130	1,156	26
コマーシャル・ペーパー	700	810	110
1年内償還予定の社債	50	50	—
長期借入金	1,469	1,506	36
社債	400	400	—
リース債務	65	59	△6
合計	3,814	3,981	166